

EVENT

次代の建築・都市を考える

九州学生デザインレビュー'96-97

多方面からの専門家(クリティック)を招いて、九州のさまざまな学生から集められた作品を審査・講評。学生たちの作品を通じて、現代建築および都市をとりまく諸問題について、ひろく一般の方々をまじえて議論し、考える場とします。

日時 3月8日(土) 10時~13時(公開審査)

14時~19時(プレゼンテーション)

場所 NHK福岡放送局テレビホール

ハイビジョンホール

(福岡市中央区六本松1の10)

参加費 無料

問合せ 九州学生デザインレビュー'96-97事務局

(博多デザイン倶楽部内)

☎092・6511・8008

INFORMATION

みなさんの声を待っています

「彩都」掲載記事・情報募集のお知らせ

都市景観やまちづくりにつながるみなさんご意見を紹介します。400字~800字程度でお寄せください。お送りいただいた方には、記念品を差し上げます。また、まちづくり・デザイン・建築などについて、ひろく都市景観につながるイベント・展覧会などの情報を紹介いたします。できるだけ詳しい内容をお書きのうえ、お寄せください。積極的なご参加をお待ちしています。

送付先 福岡市都市整備局都市景観室

〒810 福岡市中央区天神1の8の1

☎092・711・4395

☎092・733・5590

TOPICS

新しく誕生したまちのアーートを紹介します。



「森の詩」加藤昭男

福岡市総合図書館(早良区百道浜)に設置されたフクロウの親子の彫刻です。ローマ神話の知恵の女神ミネルヴァの肩に止まっている知恵のシンボル、フクロウ。知識欲旺盛な子ども、フクロウに親が与えているのも知恵の象徴のヘビ。まさに、図書館にふさわしい作品です。



「三つの帽子」草間彌生

色鮮やかな帽子が風に吹かれ、宙に浮かび、野に舞い落ちたかのようなこの3つの作品は、「あいろん」(中央区舞鶴)南側の健康づくりの道に設置されました。作家の幼いころの思い出と郷里の風景が題材となっています。みなさんも作品と対話しながら歩いてみませんか。

「彩都」アンケートのお願い

今後の「彩都」制作の参考にさせていただきたいと思っておりますので、ご意見、ご感想、次号以降の内容についての希望など、別添のアンケートはがきにてお寄せください。お送りいただいた方に、次号(N0.3)をお送りします。

編集後記

まずは、前号でお知らせした本号の発行予定を、第10回福岡市都市景観賞の記念事業の会期に合わせて4カ月ほど延期しましたことを深くお詫びいたします。

福岡市都市景観条例を制定し、10周年を迎えた1996年は、シーサイドももち地区を市で初めての都市景観形成地区に指定し、建設省が推進する「都市景観100選」に選ばれるなど、記念の年になりました。

また昨年は、誌面でも一部紹介したように、まちづくりやデザインに関するイベントの開催が目だった年でもありました。これらの催しは、今年、来年と継続されるものも多く、今後の展開もたいへん期待されているところです。取材で接した主催者のみなさんの、まちに対する真摯で情熱的な姿勢が感動的でした。

本号は、これまでの10年をふりかえるとともに、21世紀の福岡の景観を展望するという誌面構成をめざし、やや堅い感じにまとまった感じがします。いかがでしたでしょうか。

最後になりましたが、「彩都」第1号に対し、17歳から81歳までの方から96通もの読者アンケートをいただきました。たいへんありがとうございました。記事内容ははじめ、誌面づくりへのアドバイスなど、編集に生かしていきたいと思っています。今後も率直なご意見をお聴かせください。(有)

彩都 第2号
1997年1月

発行=福岡市都市整備局
都市管理部都市景観室
〒810 福岡市中央区天神1-8-1
☎092・711・4395

編集=福岡市都市整備局
都市管理部都市景観室
株式会社プランニング秀巧社

表紙デザイン=後藤 宏
デザイン=福岡アクセスポート
印刷=秀巧社印刷株式会社

※本誌掲載の写真・記事の無断転載
および複写を禁じます